



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社セリア 上場取引所 東
コード番号 2782 URL <https://www.seria-group.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 映治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経営企画室長 (氏名) 三宅 奈津子 TEL (0584) 89-8858
定時株主総会開催予定日 2024年6月20日 配当支払開始予定日 2024年6月21日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月20日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	223,202	5.1	15,121	△2.1	15,315	△1.9	9,823	△4.2
2023年3月期	212,359	2.1	15,445	△26.2	15,617	△26.8	10,254	△28.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	130.56	—	9.8	11.8	6.8
2023年3月期	136.29	—	10.8	12.5	7.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	132,705	102,038	76.9	1,356.18
2023年3月期	126,857	97,447	76.8	1,295.16

(参考) 自己資本 2024年3月期 102,038百万円 2023年3月期 97,447百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	12,235	△6,186	△5,936	56,225
2023年3月期	11,337	△6,612	△5,954	56,112

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00	5,266	51.4	5.5
2024年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00	5,266	53.6	5.3
2025年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00		52.9	

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	113,600	6.0	6,900	11.6	6,950	11.2	4,500	10.7	59.80
通期	232,800	4.3	15,100	△0.1	15,200	△0.8	9,950	1.3	132.24

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	75,840,000株	2023年3月期	75,840,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	600,441株	2023年3月期	600,398株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	75,239,599株	2023年3月期	75,239,602株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2024年5月16日（木）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(重要な会計方針)	12
(貸借対照表関係)	14
(損益計算書関係)	14
(株主資本等変動計算書関係)	15
(キャッシュ・フロー計算書関係)	17
(税効果会計関係)	17
(持分法損益等)	17
(セグメント情報)	18
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
4. 仕入及び販売の状況	19
(1) 仕入実績	19
(2) 販売実績	19
5. 役員の変動	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度のわが国経済は、一部に弱めの動きが見られますが、緩やかに回復しました。しかし、世界的なインフレとそれを受けた各国の金融政策の影響など、今後の動向には細心の注意が必要と思われます。先行きにつきましては、引き続き回復基調をたどることが期待されますが、物価上昇に伴う実質所得面からの下押し圧力が、個人消費に一定の影響を及ぼす可能性があるなど、不確実性が高い状況にあると考えられます。

小売業界におきましては、コロナの感染症法上の分類が5類に移行したことで、人流の回復、ペントアップ需要、インバウンド需要が見られましたが、コスト増に対応した価格設定などを反映して消費者物価は前年を上回って推移しており、今後の消費者動向を注視する必要があると考えております。

このような状況のなか当社は、「新次元への対応」をテーマとして、①商品仕様の見直しによる原価上昇抑制に注力、②複数出店案件が見込める企業との関係強化及び未出店地域の重点開拓、③システムを活用した社内全体の効率化追求に取り組んでおります。セルフレジにつきましては、設置すべき1,955店舗への導入は完了しました。利用率は上昇傾向にあり、順次台数追加を進めております。

出退店につきましては、採算性を精査しつつ前向きに進めた結果、当事業年度において、出店が直営店133店舗、退店が直営店69店舗、F C店2店舗、期末の店舗数は、直営店1,986店、F C店37店の合計2,023店となりました。

直営既存店売上高につきましては、連休等における遠出が来店客数にマイナスに作用したため上期は前年を下回りましたが、昨年11月以降100%を超えて推移し、前期比101.0%となりました。

主要経営指標につきましては、売上原価率は、円安や原材料コスト上昇の影響により、58.7%と前期比0.6ポイント上昇しておりますが、上昇率は小さくなっています。また、販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が0.1ポイント低下し、当事業年度の売上高営業利益率は6.8%（前期7.3%）となりました。

その結果、当事業年度の売上高は2,232億2百万円（前期比5.1%増）、営業利益は151億21百万円（前期比2.1%減）、経常利益は153億15百万円（前期比1.9%減）、当期純利益は98億23百万円（前期比4.2%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は、前期末比58億47百万円増加し、1,327億5百万円となりました。流動資産は、売掛金が増加したことなどにより45億95百万円増加しました。固定資産は、新規出店や既存店のリニューアルに伴い有形固定資産が増加したことなどにより12億52百万円増加しました。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、前期末比12億56百万円増加し、306億66百万円となりました。流動負債は、未払法人税等が増加したことなどにより、12億70百万円増加しました。固定負債は、リース債務が減少したことなどにより13百万円減少しました。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、前期末比45億90百万円増加し、1,020億38百万円となり、自己資本比率は前期末から0.1ポイント上昇し76.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末の現金及び現金同等物の残高は、前期末比1億13百万円増加し、562億25百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、前期比8億97百万円収入が増加し、122億35百万円のプラスとなりました。これは、税引前当期純利益の計上144億57百万円及び減価償却費48億76百万円などの増加に対し、売上債権の増加33億18百万円及び法人税等の支払42億46百万円などにより減少したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、前期比4億26百万円支出が減少し、61億86百万円のマイナスとなりました。これは、新規出店や既存店のリニューアルに伴う有形固定資産の取得51億56百万円及び差入保証金の差入11億25百万円などにより減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、前期比17百万円支出が減少し、59億36百万円のマイナスとなりました。これは、配当金の支払52億66百万円及びリース債務の返済6億69百万円などにより減少したためであります。

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	73.8	75.4	76.8	76.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	254.0	170.0	155.5	170.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.1	0.1	0.2	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,483.0	1,538.4	1,172.5	1,398.0

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

なお、有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を合計しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、巣ごもり需要の反動減の一巡とコスト上昇を見込み、業績予想の前提を、以下のようしております。

業績予想の前提	上期	下期	通期
直営既存店売上高前年同期比	102.9%	99.1%	101.0%
直営出店	61	79	140
直営退店	38	40	78
F C出店	0	0	0
F C退店	1	0	1
売上原価率 (前年同期比)	58.7% (△0.2%)	58.4% (△0.2%)	58.5% (△0.2%)
売上販管費率 (前年同期比)	35.2% (△0.2%)	34.8% (+1.0%)	35.0% (+0.5%)

以上により、通期の業績は、売上高2,328億円(前期比4.3%増)、営業利益151億円(前期比0.1%減)、経常利益152億円(前期比0.8%減)、当期純利益99億50百万円(前期比1.3%増)を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業価値を向上させることによって株主利益を増大させることを重要な課題としております。利益配分につきましては、経営基盤や財務体質の強化を図り、利益水準や配当性向を考慮しつつ安定的な配当の継続を目指しております。また、内部留保資金につきましては、新店の設備投資や既存店舗のリニューアル資金に充当し、売上高の拡大、株主資本利益率の一層の向上により、長期的な株主利益の増大を図ってまいります。

当期の配当金は、1株当たり期末配当金35円とし、中間配当金35円を含め年間で70円を予定しております。

次期の配当金につきましては、1株当たり中間配当金35円、期末配当金35円の年間70円とする予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、日本基準及び国際会計基準による並行開示の負担等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,078	55,191
売掛金	2,098	5,417
有価証券	3,000	3,000
商品及び製品	20,555	22,428
前渡金	45	84
前払費用	1,092	1,144
預け金	5,363	4,535
その他	13	36
貸倒引当金	△4	△1
流動資産合計	87,242	91,837
固定資産		
有形固定資産		
建物	※1 44,798	※1 46,947
減価償却累計額	△25,671	△27,877
建物(純額)	19,127	19,069
構築物	483	482
減価償却累計額	△288	△281
構築物(純額)	195	200
車両運搬具	15	15
減価償却累計額	△13	△14
車両運搬具(純額)	1	0
工具、器具及び備品	4,199	5,187
減価償却累計額	△2,887	△3,414
工具、器具及び備品(純額)	1,311	1,773
土地	※1 940	※1 940
リース資産	6,836	7,251
減価償却累計額	△5,111	△5,643
リース資産(純額)	1,724	1,607
建設仮勘定	16	52
有形固定資産合計	23,317	23,645
無形固定資産		
ソフトウェア	93	197
電話加入権	22	22
その他	0	0
無形固定資産合計	116	220

(単位:百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	339	385
関係会社出資金	33	33
長期貸付金	39	23
破産更生債権等	0	0
長期前払費用	801	771
前払年金費用	130	150
繰延税金資産	1,195	1,469
敷金及び保証金	13,519	14,022
保険積立金	142	150
その他	34	27
貸倒引当金	△54	△33
投資その他の資産合計	16,181	17,001
固定資産合計	39,615	40,867
資産合計	126,857	132,705
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,792	12,454
リース債務	649	633
未払金	1,579	1,576
未払費用	3,815	4,171
未払消費税等	305	819
未払法人税等	2,080	2,790
預り金	34	24
賞与引当金	612	634
資産除去債務	42	55
店舗閉鎖損失引当金	3	11
その他	※2 33	※2 46
流動負債合計	21,948	23,218
固定負債		
リース債務	1,252	1,143
退職給付引当金	388	386
役員退職慰労引当金	344	355
資産除去債務	5,414	5,500
預り保証金	57	55
その他	3	6
固定負債合計	7,461	7,447
負債合計	29,410	30,666

(単位:百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,278	1,278
資本剰余金		
資本準備金	1,419	1,419
資本剰余金合計	1,419	1,419
利益剰余金		
利益準備金	11	11
その他利益剰余金		
別途積立金	280	280
繰越利益剰余金	96,214	100,771
利益剰余金合計	96,506	101,062
自己株式	△1,740	△1,740
株主資本合計	97,463	102,020
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△16	17
評価・換算差額等合計	△16	17
純資産合計	97,447	102,038
負債純資産合計	126,857	132,705

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	212,359	223,202
売上原価		
商品期首棚卸高	18,987	20,555
当期商品仕入高	124,893	132,894
合計	143,881	153,450
商品期末棚卸高	20,555	22,437
商品売上原価	123,325	131,012
売上総利益	89,033	92,190
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	846	891
販売手数料	76	57
荷造運搬費	2,408	2,486
役員報酬	225	201
給料及び手当	27,116	28,524
賞与	641	534
賞与引当金繰入額	612	634
役員退職慰勞引当金繰入額	20	11
退職給付費用	33	50
法定福利費	2,175	2,318
地代家賃	24,791	26,277
減価償却費	4,589	4,876
リース料	55	50
水道光熱費	4,171	3,935
旅費及び交通費	70	74
消耗品費	845	880
支払手数料	1,381	1,940
その他	3,526	3,322
販売費及び一般管理費合計	73,588	77,069
営業利益	15,445	15,121
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	3	4
受取家賃	20	20
受取保険金	38	2
受取補償金	12	102
助成金収入	12	7
協賛金収入	60	30
その他	48	78
営業外収益合計	201	252
営業外費用		
支払利息	9	8
固定資産除却損	9	21
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3	13
その他	6	13
営業外費用合計	29	57
経常利益	15,617	15,315

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
特別損失		
減損損失	※ 262	※ 858
特別損失合計	262	858
税引前当期純利益	15,355	14,457
法人税、住民税及び事業税	5,111	4,918
法人税等調整額	△10	△285
法人税等合計	5,100	4,633
当期純利益	10,254	9,823

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金						
		資本準備金	資本剰余金計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金計			
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	1,278	1,419	1,419	11	280	91,227	91,518	△1,740	92,476	
当期変動額										
剰余金の配当						△5,266	△5,266		△5,266	
当期純利益						10,254	10,254		10,254	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	4,987	4,987	—	4,987	
当期末残高	1,278	1,419	1,419	11	280	96,214	96,506	△1,740	97,463	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△17	△17	92,458
当期変動額			
剰余金の配当			△5,266
当期純利益			10,254
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1	1	1
当期変動額合計	1	1	4,989
当期末残高	△16	△16	97,447

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本計 合
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金計		
		資本準備金	資本剰余金計		その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	1,278	1,419	1,419	11	280	96,214	96,506	△1,740	97,463	
当期変動額										
剰余金の配当						△5,266	△5,266		△5,266	
当期純利益						9,823	9,823		9,823	
自己株式の取得								△0	△0	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	4,556	4,556	△0	4,556	
当期末残高	1,278	1,419	1,419	11	280	100,771	101,062	△1,740	102,020	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△16	△16	97,447
当期変動額			
剰余金の配当			△5,266
当期純利益			9,823
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	34	34	34
当期変動額合計	34	34	4,590
当期末残高	17	17	102,038

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	15,355	14,457
減価償却費	4,589	4,876
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△115	22
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	3	8
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2	△2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5	11
受取利息及び受取配当金	△8	△10
支払利息	9	8
固定資産除却損	9	21
減損損失	262	858
売上債権の増減額(△は増加)	△1,450	△3,318
預け金の増減額(△は増加)	665	827
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,568	△1,872
仕入債務の増減額(△は減少)	1,212	△337
未払消費税等の増減額(△は減少)	△825	514
その他	118	418
小計	18,249	16,482
利息及び配当金の受取額	5	7
利息の支払額	△9	△8
法人税等の支払額	△6,907	△4,246
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,337	12,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,261	△1,288
定期預金の払戻による収入	201	1,288
有形固定資産の取得による支出	△4,602	△5,156
無形固定資産の取得による支出	△44	△159
差入保証金の差入による支出	△1,231	△1,125
差入保証金の回収による収入	570	624
その他	△244	△369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,612	△6,186
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△5,266	△5,266
リース債務の返済による支出	△687	△669
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,954	△5,936
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,228	113
現金及び現金同等物の期首残高	57,340	56,112
現金及び現金同等物の期末残高	※ 56,112	※ 56,225

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 関係会社出資金

移動平均法による原価法

(2) 満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)

(3) その他有価証券

- ・市場価格のない株式等以外のもの

時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

- ・市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品

- ・本部在庫品

総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

- ・店舗在庫品

売価還元法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

3. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は、次のとおりであります。

建物 2～38年

構築物 8～20年

工具、器具及び備品 3～15年

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法

なお、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

(3) リース資産

定額法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零としております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、翌事業年度の支給見込額のうち、当事業年度の負担すべき金額を計上しております。

(3) 店舗閉鎖損失引当金

店舗閉鎖に伴い発生する損失に備えるため、当該店舗の閉鎖時に発生すると見込まれる損失額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額を、それぞれ発生翌事業年度から費用処理しております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えて、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

5. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は以下のとおりであります。

商品の販売に係る収益認識

当社の顧客との契約から生じる収益は、主に「100円ショップ」の小売業及び卸売業における商品の販売によるものであり、これらの収益は、商品を顧客に引渡した時点で履行義務が充足されると判断し、当該時点で収益を認識しております。代金は概ね2ヶ月以内に受領しており重要な金融要素は含んでおりません。

なお、商品の販売によって付与したポイント負担金については、顧客から受け取る対価の総額から差し引いて収益を認識しております。

6. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書上、資金の範囲に含めた現金及び現金同等物は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び預け金、取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ価値の変動について僅少なりスクしか負わない短期的な投資であります。

(貸借対照表関係)

※1 担保資産

担保に供している資産は次のとおりであります。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
建物	184百万円	174百万円
土地	805	805
計	990	979

(注) 上記の資産には、銀行取引に係る根抵当権が設定されていますが、担保付債務はありません。

※2 流動負債のその他に含まれる契約負債の金額は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
契約負債	31	43

(損益計算書関係)

※ 減損損失

当社は、原則として各店舗を基本単位としてグルーピングしており、営業活動による損益が継続してマイナスとなる店舗及び閉店が決定した店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、売却や他への転用が困難な資産については零として評価しております。

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

場所	用途	種類
Seriaアクア店(広島県広島市)他55店舗	店舗	建物等

(減損損失の内訳)

建物	250百万円
構築物	4百万円
工具、器具及び備品	0百万円
長期前払費用	7百万円
計	262百万円

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

場所	用途	種類
Seria来迎寺店(新潟県長岡市)他169店舗	店舗	建物等

(減損損失の内訳)

建物	809百万円
構築物	10百万円
工具、器具及び備品	1百万円
長期前払費用	36百万円
計	858百万円

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当事業年度期首 株式数(株)	当事業年度増加 株式数(株)	当事業年度減少 株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式	75,840,000	—	—	75,840,000
合計	75,840,000	—	—	75,840,000
自己株式				
普通株式	600,398	—	—	600,398
合計	600,398	—	—	600,398

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2022年6月23日 定時株主総会	普通株式	2,633	35	2022年3月31日	2022年6月24日
2022年10月31日 取締役会	普通株式	2,633	35	2022年9月30日	2022年12月1日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年6月21日 定時株主総会	普通株式	2,633	利益剰余金	35	2023年3月31日	2023年6月22日

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当事業年度期首 株式数(株)	当事業年度増加 株式数(株)	当事業年度減少 株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
発行済株式				
普通株式	75,840,000	—	—	75,840,000
合計	75,840,000	—	—	75,840,000
自己株式				
普通株式	600,398	43	—	600,441
合計	600,398	43	—	600,441

(注) 普通株式の自己株式数の増加43株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年6月21日 定時株主総会	普通株式	2,633	35	2023年3月31日	2023年6月22日
2023年10月31日 取締役会	普通株式	2,633	35	2023年9月30日	2023年12月1日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年6月20日 定時株主総会	普通株式	2,633	利益剰余金	35	2024年3月31日	2024年6月21日

(キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
現金及び預金勘定	55,078百万円	55,191百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△1,966	△1,966
有価証券勘定に含まれる譲渡性預金	3,000	3,000
現金及び現金同等物	56,112	56,225

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
繰延税金資産		
未払事業税	168百万円	209百万円
貸倒引当金	17	10
賞与引当金	183	189
店舗閉鎖損失引当金	1	3
退職給付引当金	116	115
役員退職慰労引当金	103	106
資産除去債務	1,632	1,662
棚卸資産	25	27
減損損失	103	268
その他	79	84
繰延税金資産小計	2,429	2,677
評価性引当額	△147	△140
繰延税金資産合計	2,282	2,537
繰延税金負債		
建物(資産除去債務)	1,033	996
その他	53	71
繰延税金負債合計	1,087	1,068
繰延税金資産の純額	1,195	1,469

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
法定実効税率	29.9%	29.9%
(調整)		
住民税均等割額	2.8	3.0
租税特別措置法上の税額控除	△0.0	△1.2
その他	0.5	0.4
税効果会計適用後の法人税等の負担率	33.2	32.1

(持分法損益等)

持分法を適用した場合の投資損益等につきましては、関連会社がないため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)及び当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当社は、100円ショップ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,295円16銭	1,356円18銭
1株当たり当期純利益	136円29銭	130円56銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益(百万円)	10,254	9,823
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	10,254	9,823
普通株式の期中平均株式数(株)	75,239,602	75,239,599

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 仕入及び販売の状況

(1) 仕入実績

当事業年度における仕入実績を商品区分別に示すと、次のとおりであります。

商品区分	仕入高(百万円)	前期比(%)
雑貨	130,521	106.5
菓子食品	2,156	101.1
その他	212	132.8
合計	132,890	106.4

(注) その他には、消耗品費への振替高等が含まれております。

(2) 販売実績

当事業年度における販売実績を商品区分別、事業部門別及び地域別に示すと、次のとおりであります。

① 商品区分別売上高

商品区分	売上高(百万円)	前期比(%)
雑貨	220,065	105.2
菓子食品	2,921	100.9
その他	216	101.8
合計	223,202	105.1

(注) その他には、店舗に設置した自動販売機等の手数料収入等が含まれております。

② 事業部門別売上高

事業部門	売上高(百万円)	前期比(%)
直営売上高	220,429	105.2
F C売上高	1,894	94.4
その他	878	97.7
合計	223,202	105.1

(注) 「その他」の区分は「卸売等売上高」「海外売上高」の合計額を表示しております。

③ 地域別売上高
(直営売上高)

地域別	売上高合計		店舗異動状況(店舗数)		
	金額(百万円)	前期比(%)	期末店舗数	出店数	退店数
北海道東北地方	24,219	102.8	236	15	11
関東甲信越地方	79,104	107.0	650	56	27
東海北陸地方	39,489	103.2	402	17	13
関西地方	38,510	105.3	316	18	11
中国四国地方	16,490	106.3	165	13	4
九州沖縄地方	22,615	104.5	217	14	3
合計	220,429	105.2	1,986	133	69

(FC売上高)

地域別	売上高合計		店舗異動状況(店舗数)		
	金額(百万円)	前期比(%)	期末店舗数	出店数	退店数
北海道東北地方	233	92.8	5	0	0
関東甲信越地方	72	90.4	4	0	1
東海北陸地方	167	92.3	5	0	0
関西地方	35	109.5	3	0	0
中国四国地方	74	84.9	4	0	0
九州沖縄地方	1,310	95.4	16	0	1
合計	1,894	94.4	37	0	2

(注) 地域別の区分は次のとおりであります。

北海道東北地方……………北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東甲信越地方……………茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

東海北陸地方……………富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

関西地方……………滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国四国地方……………鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州沖縄地方……………福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

5. 役員の変動

- (1) 代表取締役の変動
該当事項はありません。
- (2) その他の役員の変動
 - ・新任取締役候補
社外取締役(監査等委員) 高城 勝信
 - ・退任予定取締役
取締役(常勤監査等委員) 中村 昇
- (3) 就任及び退任予定日
2024年6月20日